

2021年8月期
決算説明会資料

2021年10月1日

ケイティケイ 株式会社

代表取締役社長 青山英生

JASDAQスタンダード 証券コード:3035

新型コロナウイルス感染症により、亡くなられた方々へお悔やみ申し上げますと
 共に、罹患された方々のご家族、関係者の皆様にお見舞い申し上げます
 また、医療従事者の皆様に敬意と感謝を表しますと共に、新型コロナウイルス感
 染症が早期に収束することをお祈り申し上げます

1	2021年8月期 決算概況	4
2	中期経営計画 “Growth Plan”	15
3	2022年8月期 予想	37
4	(ご参考) 会社概要	42

■ 2021年8月期 決算概況

- ・売上高172.8億円(前連結会計年度比103.8%)、営業利益4.4億円(同141.3%)となり、
増収増益 (利益については上場来最高益)
- ・リサイクルトナー等は**微減**、ペーパーレス化や新型コロナウイルス感染症が**影響**
- ・利益率の高いITソリューション商品、環境・衛生商品が、グループ会社を中心に**好調に推移**
- ・期末配当は、予想の11円から14円に**増配**
- ・創業50周年を迎え新たに「**Change the office mirai**」をビジョンとして制定

■ 中期経営計画

- ・ 2022年8月期～2024年8月期 **中期経営計画“Growth Plan”を策定**

■ 2022年8月期 予想

- ・売上高、営業利益、経常利益は、2021年8月期比で増収増益、配当は14円を予想
(2021年8月期実績を新たな収益認識に関する会計基準で試算して比較)
- ・「サプライ事業」と「ITソリューション事業」の2つのセグメントを新設

1 2021年8月期 決算概況

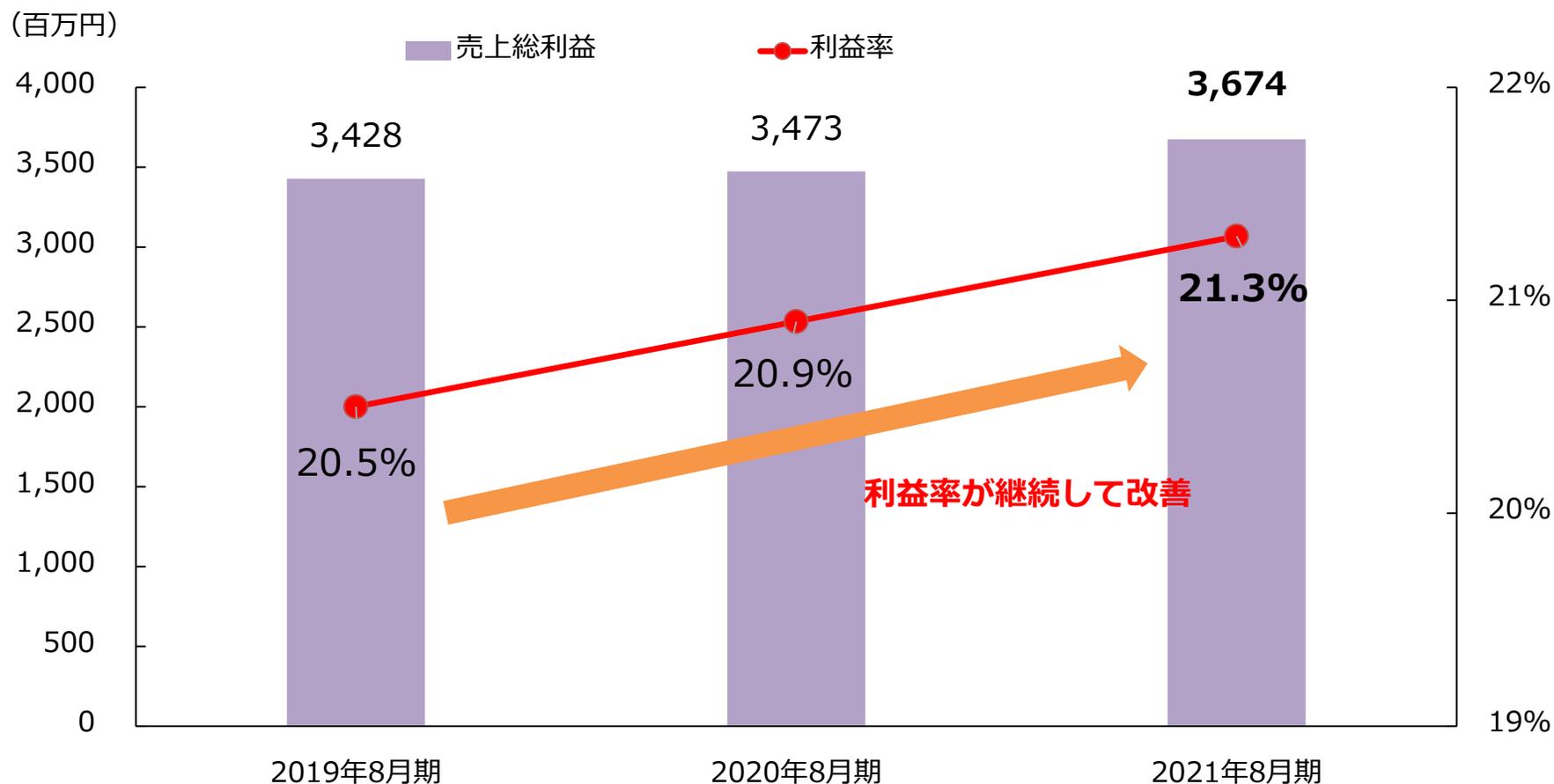
営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益 で過去最高益を更新し、期末配当を増配

(百万円)

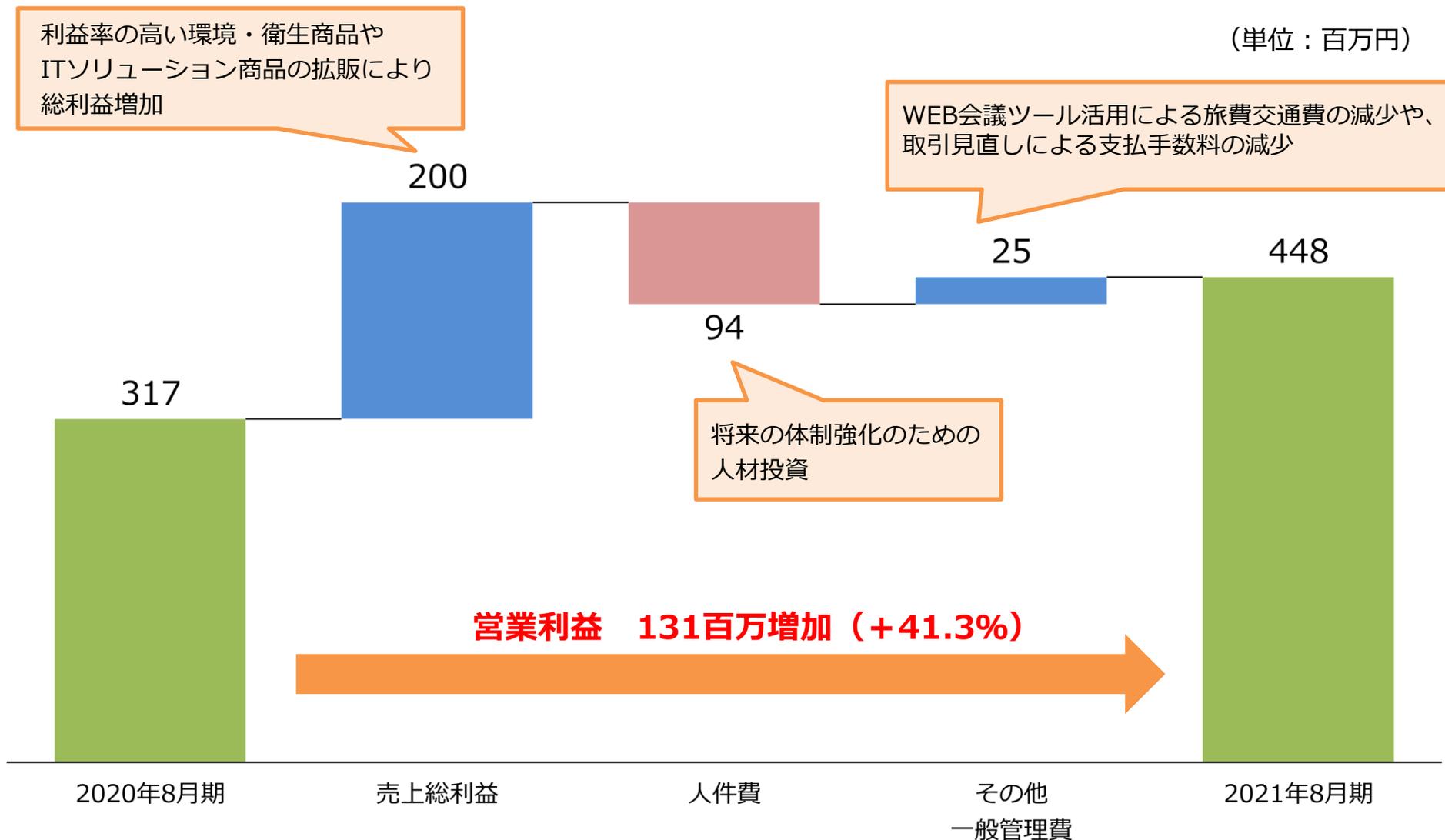
	2019年8月期		2020年8月期		2021年8月期					
	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	通期	計画① 当初発表	計画② 2021/3/29修正	第2四半期 累計	通期	前期増減	前期比 (%)
売上高	8,191	16,699	8,388	16,658	16,590	16,800	8,393	17,285	627	103.8
営業利益	175	285	195	317	269	330	253	448	131	141.3
経常利益	198	314	216	344	285	352	276	479	135	139.4
当期純利益※	133	216	151	233	177	246	201	333	99	142.6
1株当たり 当期純利益	円 銭 23.38	円 銭 37.78	円 銭 26.53	円 銭 42.06	円 銭 32.97	円 銭 45.83	円 銭 37.50	円 銭 62.04	円 銭 19.98	147.5
一株配当	円 銭 0.00	円 銭 11.00	円 銭 0.00	円 銭 11.00	円 銭 11.00	円 銭 11.00	円 銭 0.00	円 銭 14.00		
配当性向	29.1%		26.2%		33.4%	29.1%		22.6%		

※親会社株主に帰属する当期純利益

需要が大きく、利益率の高いITソリューション商品、環境・衛生商品の拡販と、工場における製造原価の削減の継続により、売上総利益は増加し、利益率も向上



(単位：百万円)



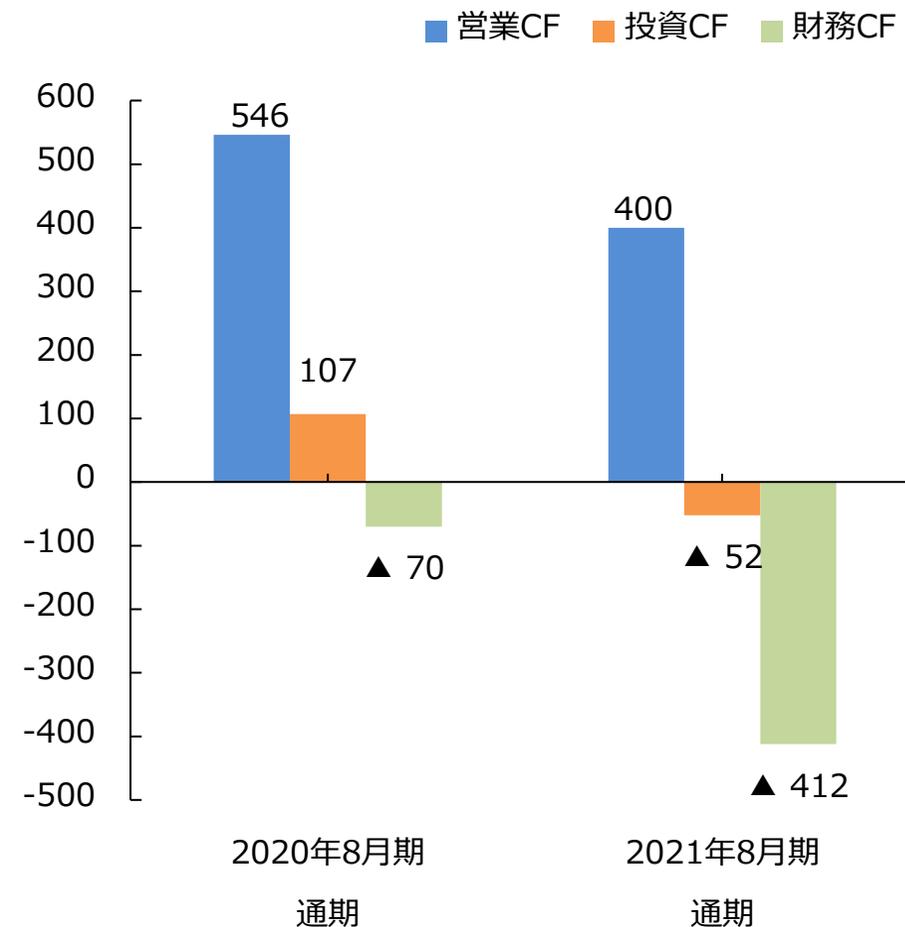
■ 貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年8月期	2021年8月期	増減額
流動資産	5,650	5,664	▲14
現金及び預金	2,715	2,648	▲67
受取手形及び売掛金	2,352	2,444	91
商品・その他の資産	582	572	▲9
固定資産	2,797	2,782	▲15
有形固定資産	1,682	1,671	▲10
無形固定資産	99	96	▲2
投資その他の資産	1,016	1,013	▲2
資産合計	8,447	8,446	▲1
負債合計	5,323	5,041	▲281
流動負債	4,705	4,566	▲138
固定負債	617	474	▲143
純資産合計	3,124	3,405	280
負債純資産合計	8,447	8,446	▲1
自己資本比率	37.0%	40.3%	+3.3pt

■ キャッシュ・フロー

(単位：百万円)



<p>リサイクルビジネス</p>	<p>SDGsへの取り組みを推進し拡販</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル商品の販売を通じて、顧客のSDGsへの取り組みを支援（使用済トナーカートリッジの回収を強化し、廃棄物の削減を促進） ・リサイクルトナーの拡販と工場の生産性向上 ・CO2削減とゼロエミッションを推進 	<p>P10 </p>
<p>ITソリューションビジネス</p>	<p>グループの顧客基盤を活かし顧客のDXを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ企業のSBMソリューション、エス・アンド・エスのビジネスノウハウを、グループ全体に展開（顧客基盤を活用） ・ITソリューション商品を拡販、特にニーズが高いネットワークセキュリティ対策商品に注力 	<p>P11 </p>
<p>環境・衛生ビジネス</p>	<p>グループの調達力を活かし感染症対策をサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ企業の青雲クラウンの調達力を活かし感染症対策に寄与する商品を幅広くラインナップ ・顧客ニーズに応じ、タイムリーに商品・サービスを提供 	<p>P12 </p>
<p>人材投資</p>	<p>マネジメント人材の育成と駒ヶ根工場での「ものづくり研修」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の経営人材を育成するため、グループ横断で研修を実施 ・改善の文化の定着のため駒ヶ根工場で「ものづくり研修」を実施 	<p>P13 </p>

重点施策：リサイクルビジネス

2021年9月、循環型社会の実現を目指し、ケイティケイSDGs宣言を発展させる形で、ケイティケイ「サステナビリティ基本方針」を策定

ケイティケイは、事業活動と経営戦略の中心にSDGsの理念を据えて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります

駒ヶ根工場（リサイクルトナー製造）での取り組み

CO2排出削減
積極的に障がい者雇用
再生可能エネルギーを活用
ゼロエミッションの達成



ケイティケイで
リサイクル



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【トピックス】

①長野県SDGs推進企業に登録
駒ヶ根工場におけるSDGsへの取り組みが認められました



②あいちゼロカーボン推進協議会に加盟
リサイクル商品の生産・販売を通じた環境貢献と、グループビジョンである「Change the office mirai」の達成に向け『あいちゼロカーボン推進協議会』に加盟しました

ITソリューションビジネス

経営課題に合わせて最適なITソリューションを提案し、中小企業のDX推進を支援

■ドキュメント



■コミュニケーション



■セキュリティ



■PC環境



■ネットワーク



■クラウド



■WEB開発



■オフィス環境



ITソリューション商品専門通販サイト
「はっするネットPlus」を開設

約60万点のITソリューション商品で、
DX推進を強力に支援



<https://b3id.jp/hn-plus/>

環境・衛生ビジネス

CO2濃度計、手指消毒用品、飛沫感染防止パネル等の需要が急拡大、オフィス向けの空気清浄機等も需要増加
青雲クラウンの調達力を活かし、ニーズに合わせタイムリーに幅広い商品を提供

除菌・抗菌



マスク・フェイスシールド



体温測定器



空気清浄機・噴霧器



ウイルス・ニオイ・花粉対策に

norox
ノロックス

飛沫感染防止パネル



抗ウイルスファニチャー



当グループでは、従業員1人1人が自立したプロとして価値を発揮するために、継続的な人材投資が必要と認識し、人材育成への投資を、大きく4つの分野で推進

マネジメント人材育成

グループ横断で対象者を選抜し、将来の経営人材を育成

2021年8月期スタート



ものづくり研修

『ものづくり』に関する考え方を基礎から見直し、改善の文化を定着させるための教育を実施

2021年8月期スタート



営業研修

階層別、地域別で営業職を集めて研修を定期的に行い、営業力を底上げ
グループ間の営業交流も開始



基礎研修・資格取得支援

新入社員研修をはじめとし、定期的に集合型の研修を開催

ITパスポート等、公的資格取得への支援・補助制度、社内資格制度も充実



ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

仕事と仕事以外の活動との両立が重要と考えており、各種制度を整備し推進しています

『名古屋市ワーク・ライフ・バランス推進企業』

『愛知県ファミリーフレンドリー企業』

『あいち女性輝きカンパニー』に認定



社内資格制度のご紹介

『プリンターエキスパート（PX）資格』
安心して当社のリサイクル商品をお使いいただくため、プリンターに関するスキルが優れた社員の育成を目的とした資格制度を設け、学科と実技の厳しい試験を実施



1) 全従業員共通の対応

- ・手洗い、うがい、手指消毒、マスクの着用、出勤前の検温
- ・発熱等の症状がある場合の自宅待機
- ・WEB会議の推奨、飛沫防止、定期的な換気、消毒
- ・公共交通機関利用者の時差出勤、出張の制限
- ・大人数での会議、会食の自粛、感染対策の実施

2020年12月、グループ会社において1名
2021年 8月、当社東京支店において3名
感染者が発生（HPに掲載）
2日間当社東京支店を閉鎖 感染拡大なし

2) 営業活動における対応

- ・訪問が難しい顧客・地域へ訪問営業の自粛
- ・電話、WEBミーティング等による営業の推進
- ・メールやWEBサイトを利用したデジタルマーケティングの活用
- ・展示会をオンライン開催に変更

直行直帰、スマホ・モバイルPC貸与等、以前からの体制整備により影響は軽微
テレワーク等に関連したITソリューション商品や、環境・衛生商品の拡販が順調に推移

3) 本社内勤及び営業事務における対応

- ・テレワーク、在宅勤務の実施
- ・マイカー通勤の許可

在宅勤務の環境が構築できており、業務への影響なし（ただし、繁忙期や、重要度の高い情報を扱う業務を除く）

4) 生産工場・出荷倉庫における対応

- ・休憩時間の時差取得、作業場所・食堂等における間隔の確保
- ・マイカー通勤の許可

感染症対策を実施したことで、出荷や生産への影響なし

2 中期経営計画 “Growth Plan”

■ 経営理念

“お客様の発展をトータルでサポートし、お客様にお喜びいただき、社会に貢献する”

■ 長期ビジョン

Change the office mirai



社会を変える

リユースリサイクルが当たり前のミライを目指し、SDGs・循環型社会に貢献します

お客様のオフィスを変える

お客様にDXソリューションを提供し、中長期的な信頼関係を築きながら、お客様のミライを変えていきます

自分たちが変わる

社員が価値を発揮できるよう、人材投資を継続的に行い、自分たちのミライを変えていきます

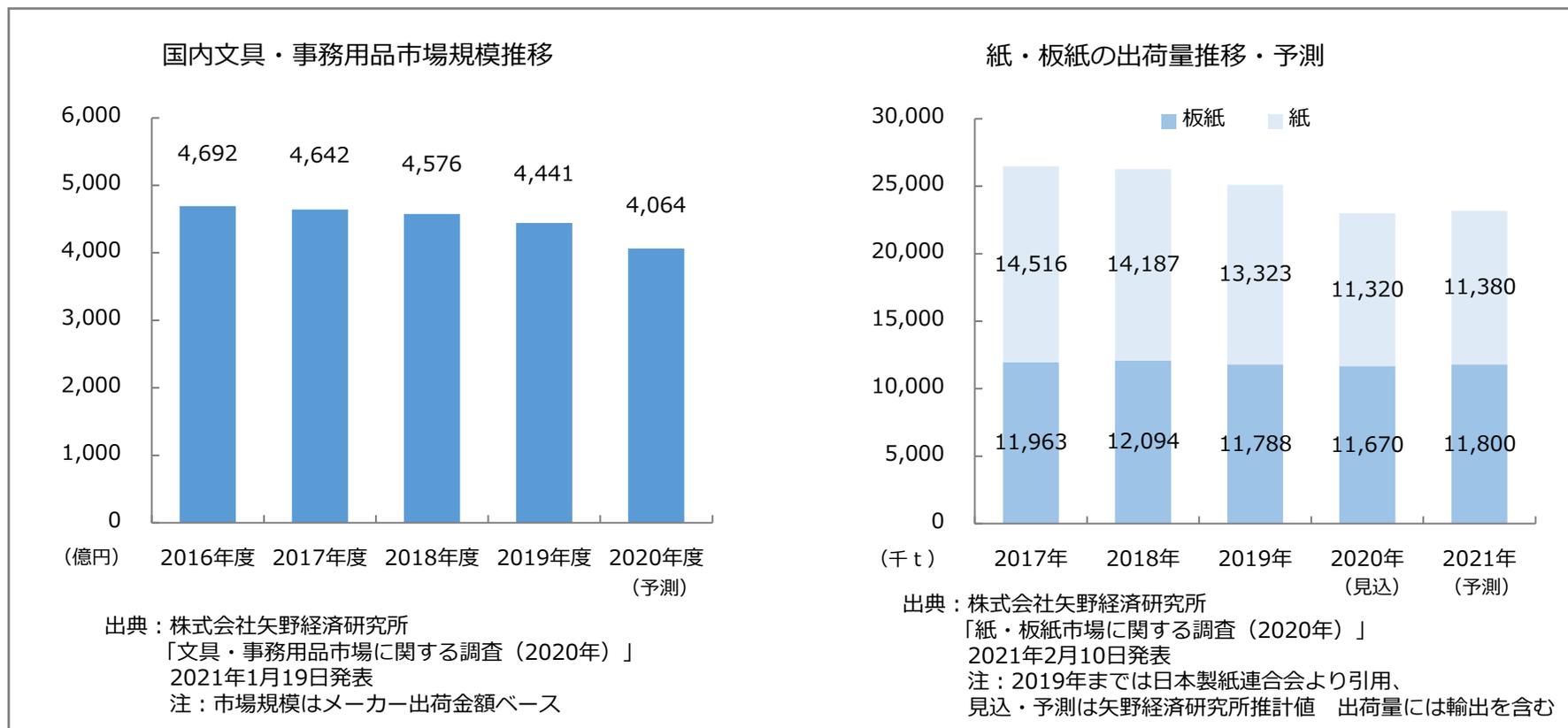
サステナビリティ基本方針

“事業活動と経営戦略の中心にSDGsの理念を据え、
持続可能な社会の実現に貢献する”

当社が営む事業は、サステナビリティに資する行動そのもの

- ・ リユースリサイクルビジネスや再生可能エネルギー利用によるCO2削減、ゼロエミッションの達成
- ・ リユースリサイクル製品販売等による顧客のSDGs支援
- ・ 感染予防や環境負荷軽減に資する商品販売を通じた新たな価値の提案
- ・ 顧客である中小企業等のDX支援

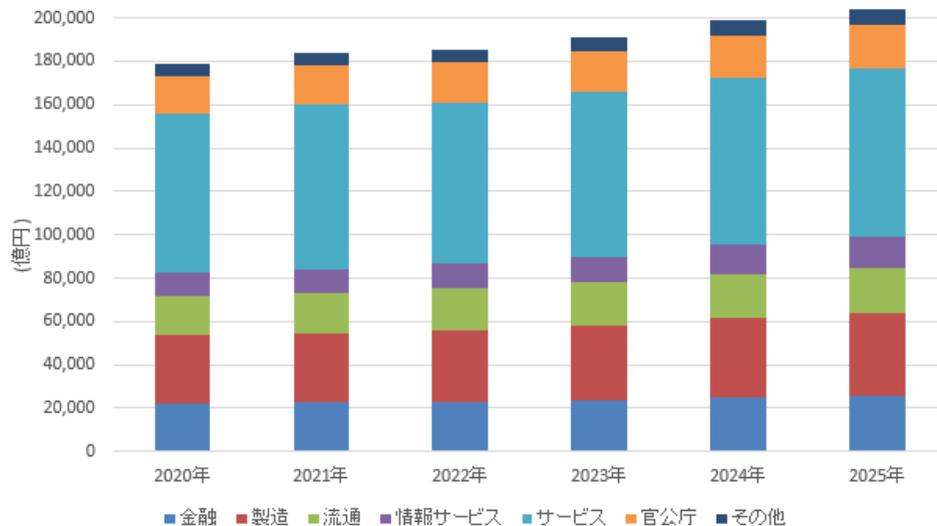
ペーパーレス化の進行により、 トナー・文具等のサプライ用品の市場は縮小



当社のサプライ事業の売上高も横ばいから漸減

ITやDXの市場は大きく成長する見込み

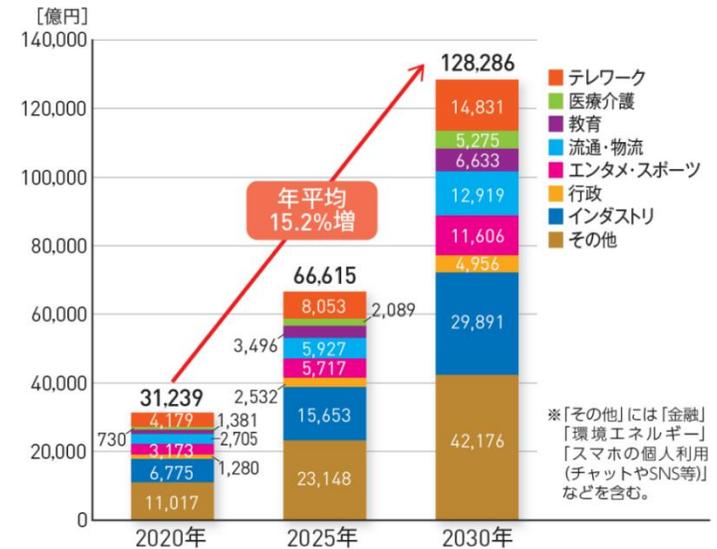
国内IT市場 産業分野別 支出額予測、2020年～2025年



出典：： IDC Japan 株式会社

「国内IT市場 産業分野別/従業員規模別/年商規模別予測、2021年～2025年：2021年3月末時点の COVID-19 による影響を考慮」 2021年5月25日発表

日本のIT リモート市場の利活用分野別需要額見通し



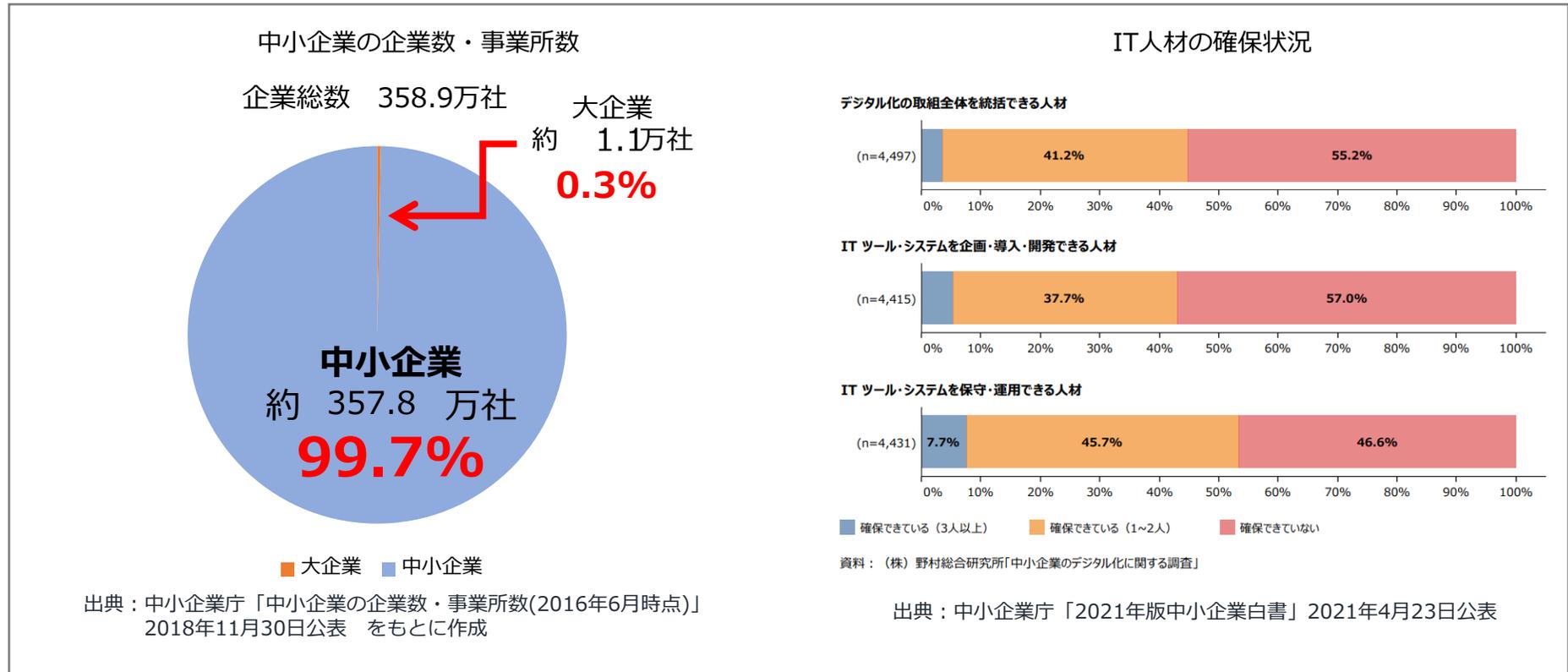
出典：一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)

総合政策部会/調査統計委員会/注目分野TF
「注目分野に関する動向調査2020」 2020年12月発表

当社でもITソリューション売上高が増加し、

サプライ事業の減少をカバー

国内の企業の大半は**中小企業**や**小規模事業者**
中小企業の約半数では、**IT人材が不在**



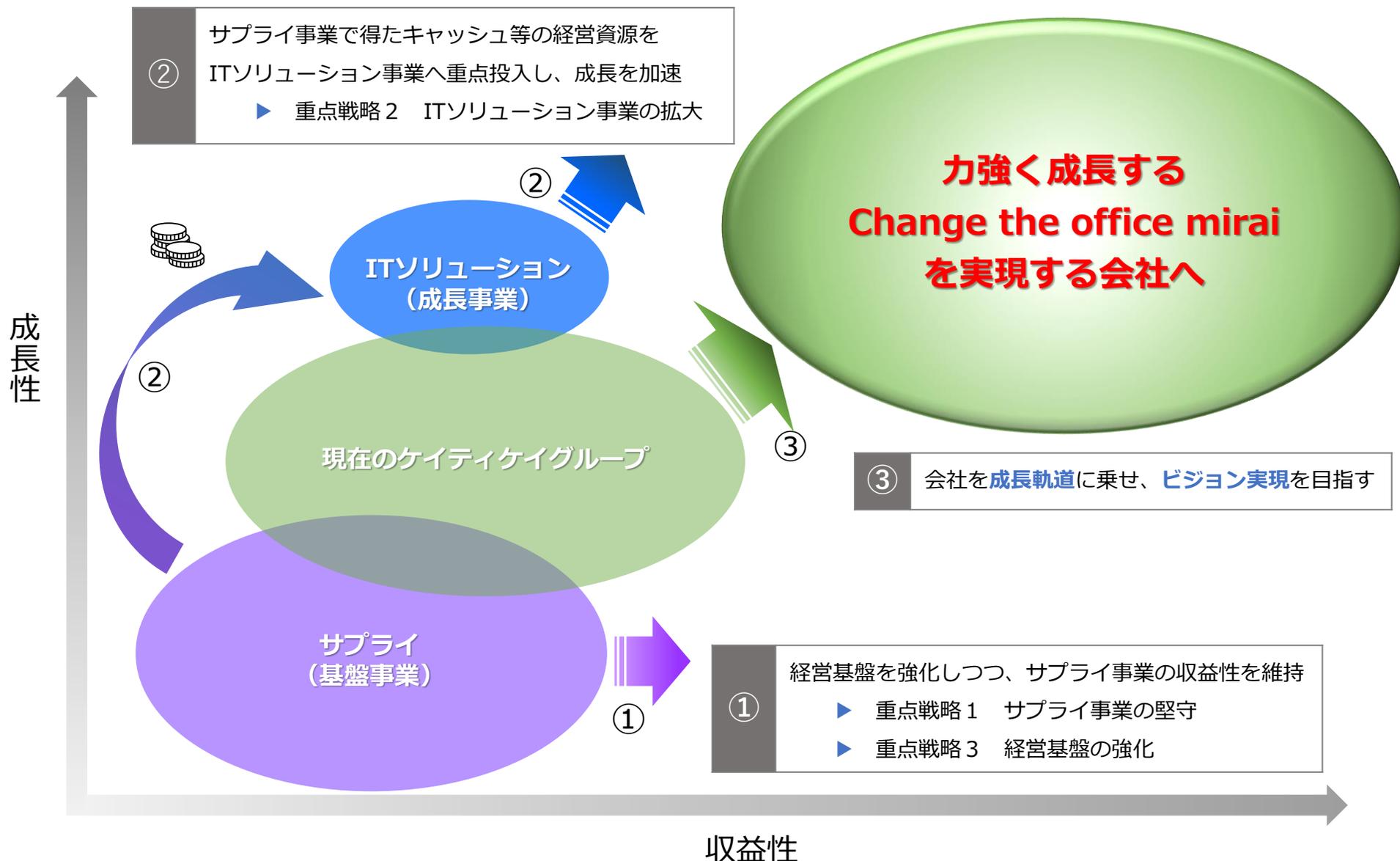
当社の**ITソリューション事業の主要顧客は、**
中小企業や小規模事業者

2022年8月期～2024年8月期

中期経営計画 “Growth Plan”

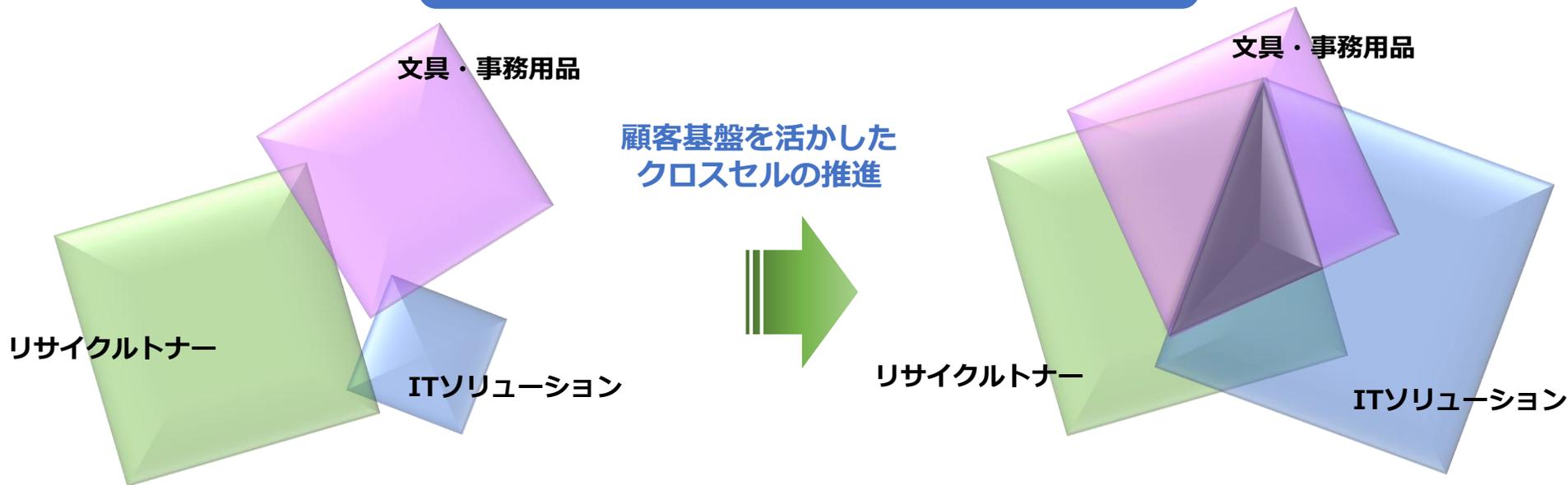
基本方針

1. 成長軌道への転換
2. ビジネスの立体化
3. ストックビジネスの進化



当社の財産・強み

顧客基盤
全国約 **15,000** 社（販売店を含む）
= 定期的にコンタクトする、顔の見える顧客



単一商品への特化 各社独自に拡販	▶▶▶	トータルサポート力 クロスセル グループ連携（調達～販売）
自社商品目線 コスト提案 物売り	▶▶▶	顧客目線（ソリューション） 価値提案 コト売り
購買担当者との商談	▶▶▶	経営者等の決裁権者との商談

顧客との関係性を強化し、ITソリューション事業を伸ばしサプライ事業を守る

ITソリューション [成長事業]

物販のみにとどまらず、サービスを合せてパッケージ化する

継続課金型の保守やサブスクリプションにも注力し、**安定収益の得られるストックビジネス**の進化系を目指す

サプライ [基盤事業]

顧客からの定期継続受注が期待できるストックビジネス

これが**当社の大きな強み**

2024年8月期数値目標

	2021年8月期		2024年8月期
売上高	172.8億円 (172.1億円)	+ 17.2億円 (+17.9億円)	190.0億円
営業利益	4.4億円 (3.8億円)	+ 0.8億円 (+1.4億円)	5.2億円
経常利益	4.7億円	+ 1.3億円	6.0億円
ROE	9.8%		10.0%以上

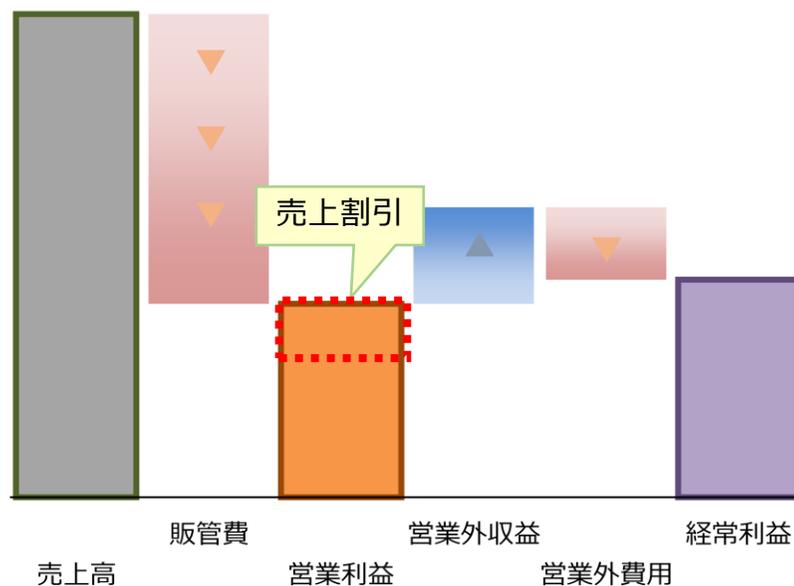
※ 2022年8月期より「収益認識に関する会計基準」が適用されるため、当該基準に基づいた目標値としております。増減額は、会計基準の変更を考慮しない単純比較とし、() 内に2021年8月期の実績値に新基準を適用して試算した参考値と、その値を基にした増減額を記載しております。

2022年8月期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」が適用されるため、売上割引を伴う一部取引について売上高の計上方法が変更されます

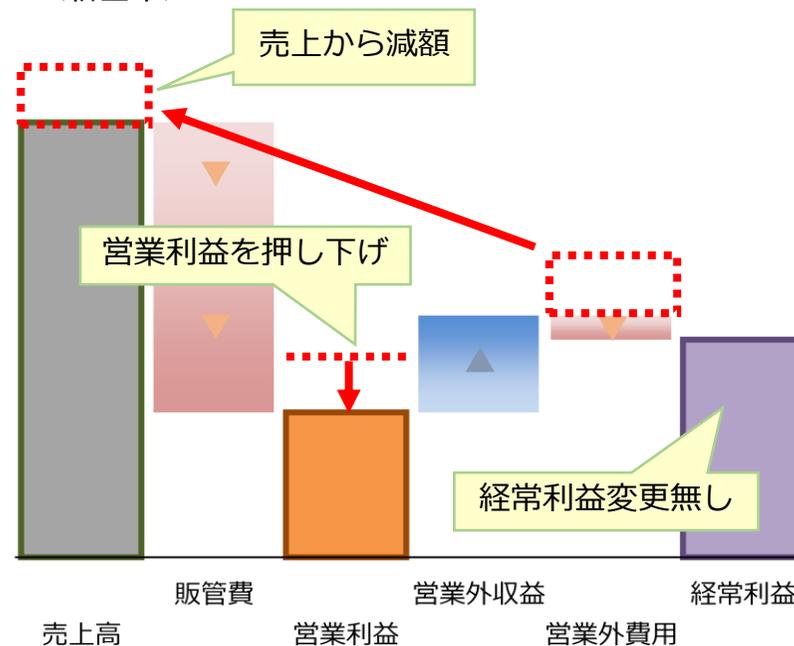
【売上割引】

主に連結子会社における顧客との一部契約で、一定期間の取引額に対して行う売上割引のこと
従来会計基準においては、営業外費用として処理していたが、新会計基準では、売上高より減額する処理に変更

<従来基準>



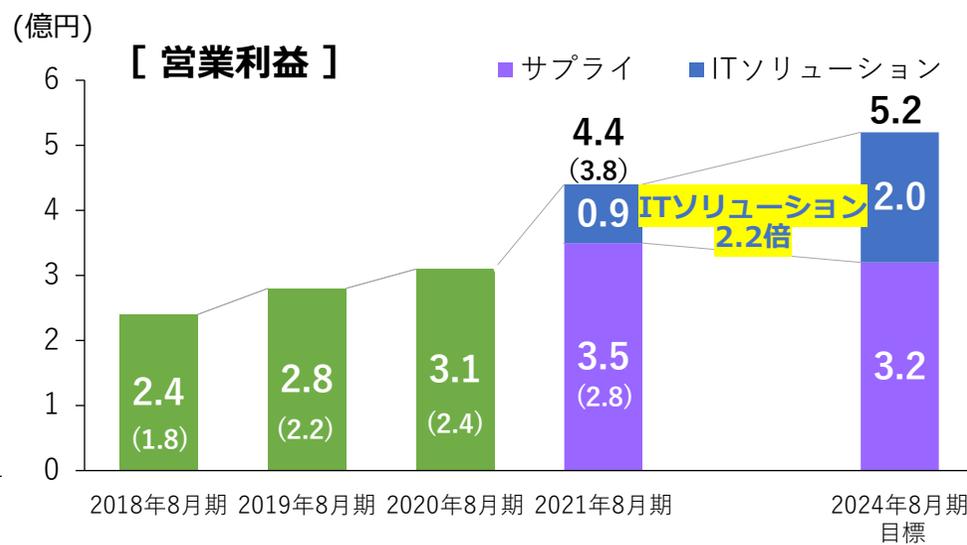
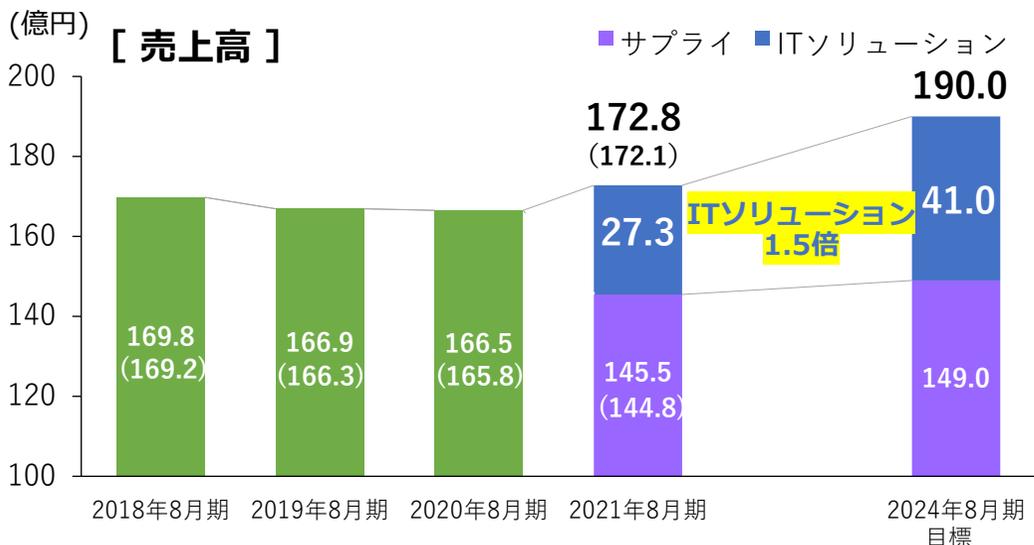
<新基準>



数値目標 (セグメント別)

セグメント別目標

		2021年8月期		2024年8月期
売上高	サプライ	145.5億円 (144.8億円)	+3.5億円 (+4.2億円)	149.0億円
	ITソリューション	27.3億円	+13.7億円	41.0億円
営業利益	サプライ	3.5億円 (2.8億円)	-0.3億円 (+0.4億円)	3.2億円
	ITソリューション	0.9億円	+1.1億円	2.0億円



※ 2021年8月期セグメント別実績は概算値です

※ 2022年8月期より「収益認識に関する会計基準」が適用されるため、当該基準に基づいた目標値としております

() 内に2021年8月期以前の実績値に新基準を適用して試算した参考値を記載しております

1. サプライ事業（基盤事業）の堅守
2. ITソリューション事業（成長事業）の拡大
3. 経営基盤の強化

新たな商品価値の創造 生産性のさらなる向上



具体施策

1 「サステナブル商品」としての価値の再定義と拡販



感染予防・環境貢献の観点から顧客のSDGsを支援、
川上（導入診断）から川下（定期交換・配送）までのサポート

◆リサイクル商品

リサイクルトナー・インク・ジェル・リボン



◆環境・衛生商品

感染予防
非接触



CO2削減・脱炭素
省エネルギー
脱プラスチック



具体施策

2 現場組織の強靱化（自律性強化）

品質向上・原価低減の継続、ノウハウの共有



3 営業DX

各種データ解析による営業活動の最適化と生産性向上、効果的な業務支援ツールの選定・導入
インサイドセールスの強化



4 新たな販売手法・チャネルの開拓

ECビジネス・BtoCビジネスへの参入検討





中小企業のDX支援 グループ横断での取り組み 外部企業との協業

具体施策

顧客ターゲット

- ・従業員10名以下の小規模事業者「情報システム部門無し」
- ・従業員30～100名程度の中小企業「ひとり情シス」

1 顧客の未来のオフィスに必要なソリューションのパッケージ化と拡販



- ◆ドキュメント
複合機
電子文書管理
OCR 等



- ◆コミュニケーション
WEB会議
デジタルホワイトボード
サイネージ



- ◆セキュリティ
UTM
ネットワークカメラ



- ◆PC環境
PC モバイルPC
テレワーク



- ◆ネットワーク
通信回線、ルータ、SIM

- ◆クラウド
グループウェア、勤怠管理

- ◆WEB開発
ホームページ、WEBアプリ

- ◆オフィス環境
リニューアル、オフィス家具、配線

具体施策

2 保守やサブスクリプション販売によるストックビジネスの拡充

複合機の保守、パソコン・ネットワーク環境の定額サポート、クラウドサービス



3 顧客企業の経営者や決裁権者へのアプローチ強化

ITのチカラで経営課題の解決を支援（DX）



4 グループ連携プラットフォームの整備

グループ各社の顧客チャネルを活かした形でのビジネス展開



5 外部企業との業務・資本提携機会の探索

新興企業等との協業、事務機器販売店等の事業承継支援



「人」を中心としたマネジメント基盤の整備



具体施策

1 人材育成



成長に向けた**リスキリング**、IT基礎知識の習得、顧客対話力の養成
次世代**リーダー**の育成
実力・能力重視型人事・給与制度への移行

2 社内DXの推進



事務の効率化（社員は「人ならでは」の領域に集中）、**ECサイト**のあり方の見直しと再構築

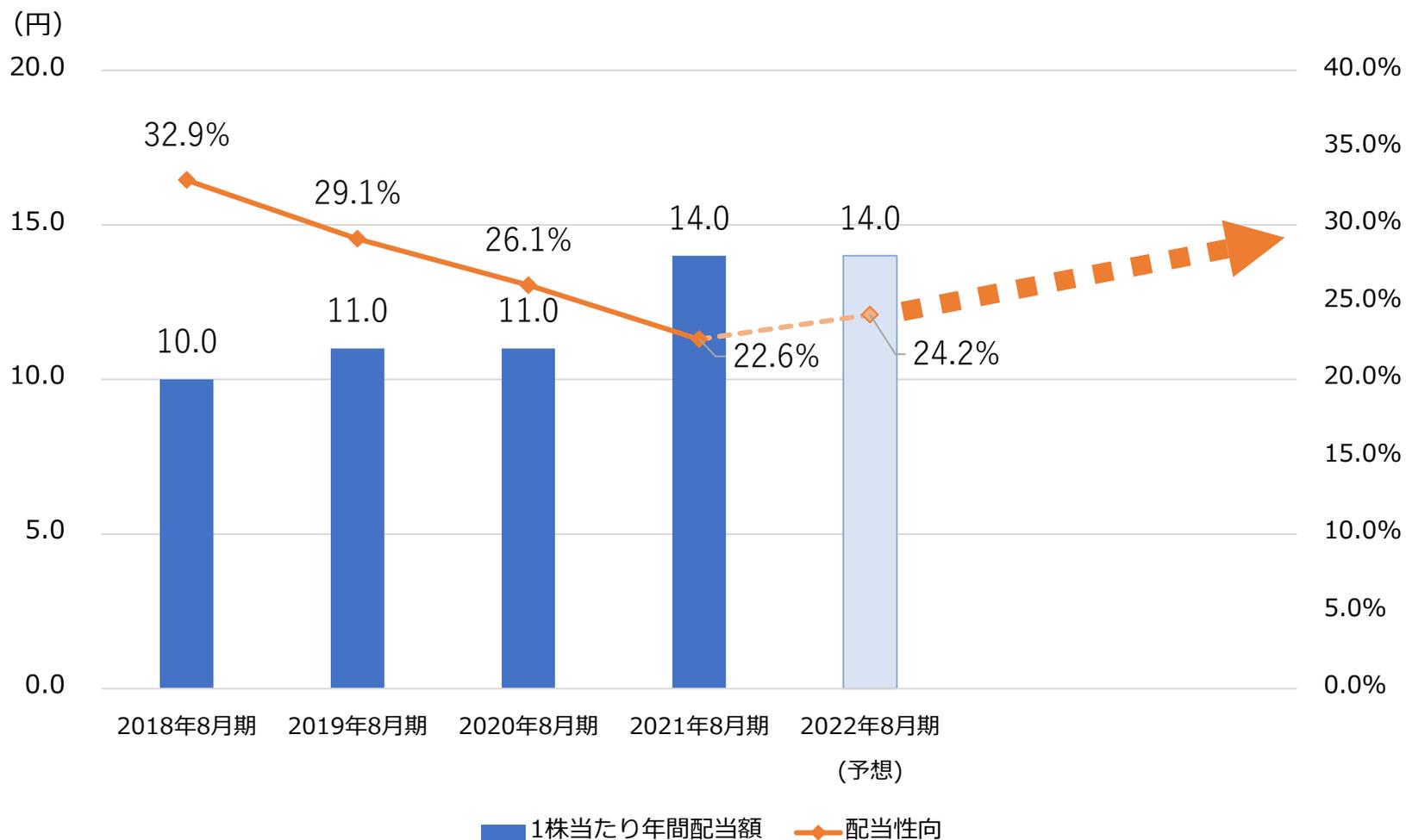
3 コーポレートガバナンスの高度化



指名・報酬委員会の設置、役員報酬制度の見直し（譲渡制限付株式報酬の導入※）

※50期定時株主総会において決議予定

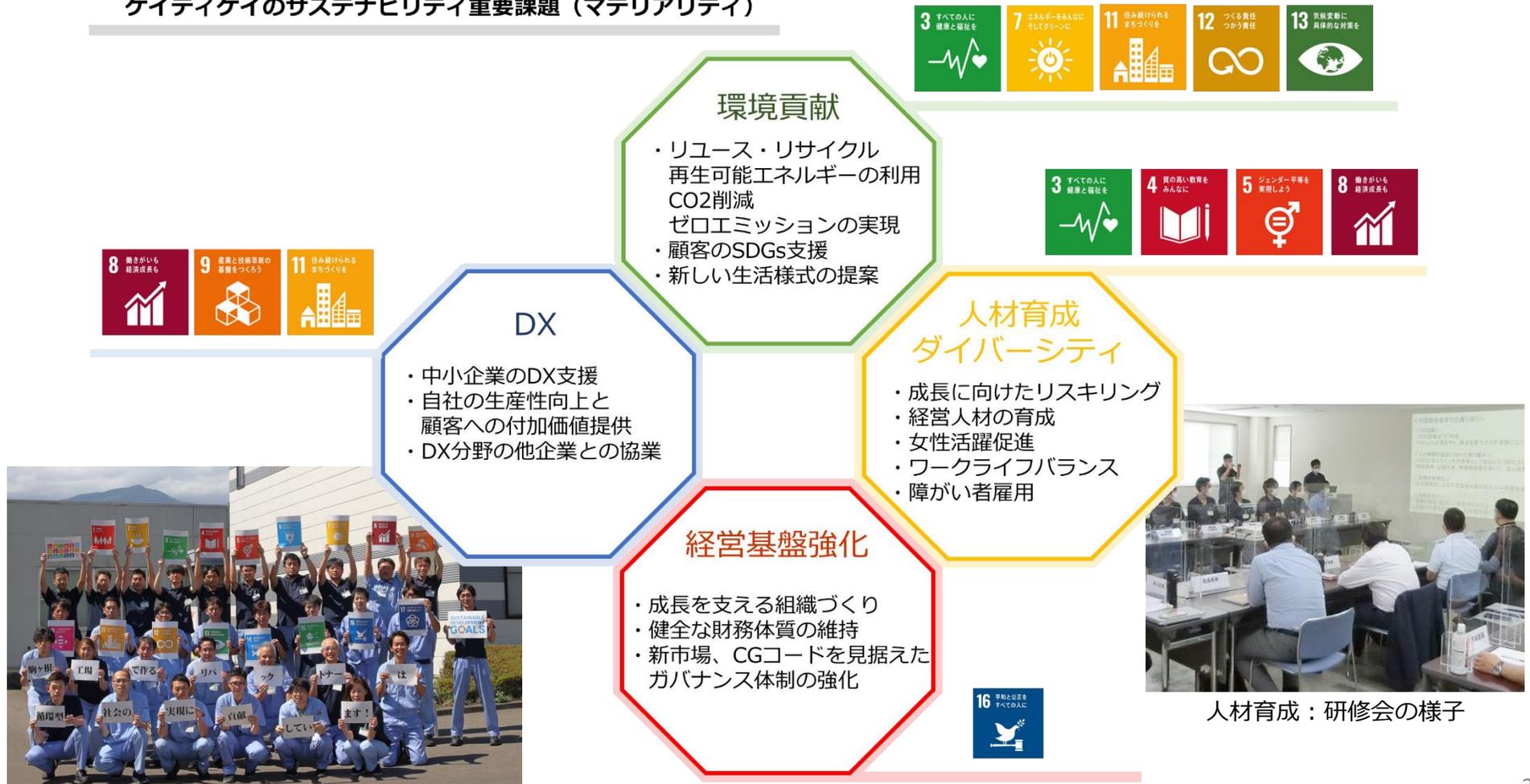
連結配当性向30%を目途に、
成長に向けた投資との調整を図りつつ、安定的な株主還元を実施



サステナビリティ基本方針

「ケイティケイは、事業活動と経営戦略の中心にSDGsの理念を据えて、
持続可能な社会の実現に貢献してまいります」

ケイティケイのサステナビリティ重要課題（マテリアリティ）



SDGsに取り組む駒ヶ根工場のメンバー

人材育成：研修会の様子

3 2022年8月期 予想

売上高・経常利益は前期比増を予想、営業利益も実質は前期比増、配当は14円を見込む

(売上高・営業利益は、会計基準の変更により減少、純利益※は前期に投資有価証券売却益という特殊要因あり)

(百万円)

	2020年8月期		2021年8月期		2022年8月期 予想					
	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	前期増減	前期比 (%)	通期	前期増減	前期比 (%)
売上高	8,388 (8,353)	16,658 (16,588)	8,393 (8,361)	17,285 (17,216)	8,440	46 (78)	100.6 (100.9)	17,310	24 (93)	100.1 (100.5)
営業利益	195 (162)	317 (249)	253 (222)	448 (380)	202	▲51 (▲20)	79.6 (90.8)	390	▲58 (9)	86.9 (102.4)
経常利益	216	344	276	479	254	▲22	91.9	490	10	102.1
当期純利益※	151	233	201	333	172	▲29	85.5	325	▲8	97.6
1株当たり 当期純利益	円 銭 26.53	円 銭 42.06	円 銭 37.50	円 銭 62.04	円 銭 32.04	円 銭 ▲5.46	85.4	円 銭 60.55	円 銭 ▲1.49	97.6
期末配当	円 銭 0.00	円 銭 11.00	円 銭 0.00	円 銭 14.00	円 銭 0.00			円 銭 14.00		
配当性向		26.2%		22.6%				23.1%		

※親会社株主に帰属する当期純利益

2022年8月期より「収益認識に関する会計基準」が適用されるため、当該基準に基づいた予想値としております
増減、前期比は、会計基準の変更を考慮しない単純比較とし、()内に2021年8月期以前の実績値に新基準を適用して試算した
参考値と、その値を基にした増減、前期比を記載しております

2022年8月期より、『サプライ事業』と『ITソリューション事業』の2つのセグメントを新設
『サプライ事業』『ITソリューション事業』の商品・サービスは以下の通り

サプライ事業	ITソリューション事業
<ul style="list-style-type: none"> ○リサイクルトナー、インク、リボン ○コピー用紙、ロール紙 ○環境・衛生商品 ○文具、事務用品 <p style="text-align: center;">等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ○ドキュメント ○コミュニケーション ○セキュリティ ○PC環境 ○ネットワーク ○クラウド ○WEB開発 <p style="text-align: center;">等</p> 

(百万円)

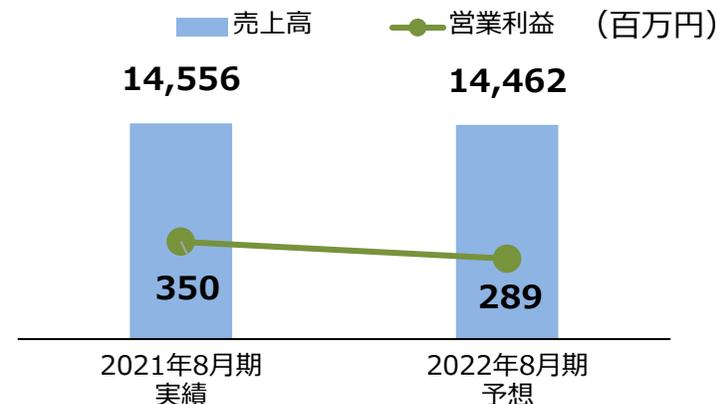
	売上高			営業利益		
	2021年8月期 実績	2022年8月期 計画	増減額	2021年8月期 実績	2022年8月期 計画	増減額
サ プ ラ イ 事 業	14,556 (14,487)	14,462	▲94 (▲24)	350 (282)	289	▲61 (6)
ITソリューション事業	2,729	2,847	118	97	100	2
合 計	17,285 (17,216)	17,310	24 (93)	448 (380)	390	▲58 (9)

※ 2021年8月期セグメント別実績は概算値です

※ 2022年8月期より「収益認識に関する会計基準」が適用されるため、当該基準に基づいた予想値としております
増減は、会計基準の変更を考慮しない単純比較とし、()内に2021年8月期の実績値に新基準を適用して
試算した参考値と、その値を基にした増減を記載しております

(百万円)

	2021年8月期 実績	2022年8月期 計画	増減額
売上高	14,556 (14,487)	14,462	▲94 (▲24)
営業利益	350 (282)	289	▲61 (6)



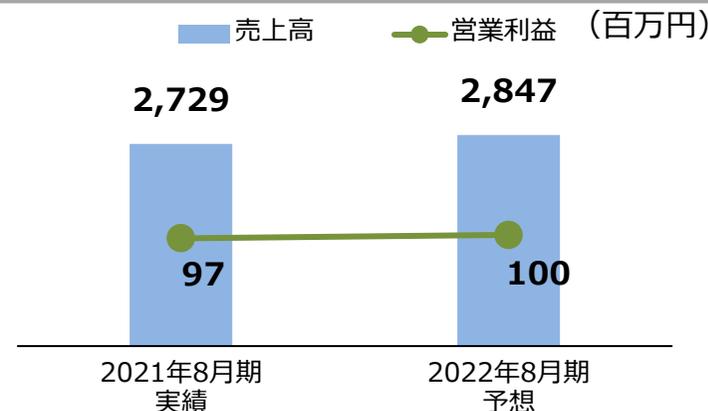
※ 2021年8月期セグメント別実績は概算値です
 ※ 2022年8月期より「収益認識に関する会計基準」が適用されるため、当該基準に基づいた予想値としております
 増減は、会計基準の変更を考慮しない単純比較とし、()内に2021年8月期以前の実績値に新基準を適用して
 試算した参考値と、その値を基にした増減を記載しております

重点施策

リサイクル	<p>サステナビリティ (SDGs) の取り組みを推進し拡販</p> <ul style="list-style-type: none"> リサイクル商品の販売を通じて、顧客のSDGsへの取り組みを支援 (使用済トナーカートリッジの回収の強化により廃棄物の削減を促進、CO2削減) リサイクルトナーの拡販によりリサイクル市場におけるシェアを拡大 工場の生産性向上 	
環境・衛生	<p>グループの調達力を活かし感染症対策や環境負荷軽減をサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ企業の青雲クラウンの調達力を活かし商品を幅広くラインナップ 顧客ニーズに応じ、タイムリーに商品・サービスを提供 	
営業DX	<p>営業部門の生産性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客・営業活動等のデータを収集する基盤の確立 データ分析による営業活動の効率化 インサイドセールスの体制整備 	

(百万円)

	2021年8月期 実績	2022年8月期 計画	増減額
売上高	2,729	2,847	118
営業利益	97	100	3



※ 2021年8月期セグメント別実績は概算値です

重点施策

グループ展開	<p>中小企業のDX支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ顧客基盤 15,000社の活用 (クロスセル) ・オフィスに必要なITソリューションをパッケージ化して拡販 ドキュメント (複合機・電子文書管理)、ネットワーク (無線LAN、通信回線)、セキュリティ (UTM、セキュリティカメラ)、コミュニケーション (WEB会議、デジタルホワイトボード) 等 ・顧客企業の経営者や情報システム担当者に対する情報提供とアプローチを強化 	
組織 人材育成	<p>グループ連携プラットフォームの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ各社のITソリューション部門の連携強化を目的とした「ITソリューション戦略会議」の立ち上げ ・先行するSBMソリューション、エス・アンド・エスのビジネスノウハウを、グループ全体に展開 ・社員のスキルの底上げと技術スタッフ等の専門人材の採用・育成 	
他社協業	<p>メーカーや新興企業との協業による成長加速</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノウハウや強みを相互に補完できるパートナーの探索 ・新しい商品・サービスは積極的に社内でも活用 	

4

(ご参考) 会社概要

商号	ケイティケイ株式会社 (ktk INC.)
設立	1971年6月29日
資本金	2億9,467万円
代表取締役	青山 英生
従業員数	182名
拠点	営業拠点 20拠点 / 生産拠点 2拠点 物流拠点 2拠点
事業内容	リサイクルトナー等のプリンター消耗品の製造・販売 OA機器に使用する消耗品、文具事務用品等の販売 インターネット等の通信販売を利用した商品等の販売 DX推進のITソリューション商品の販売

■ 自社生産のリサイクル商品

主力のリサイクルトナーは、品質管理を徹底した長野県駒ヶ根市の自社工場で生産



■ WEB発注システム

【企業向け】

約40,000点のアイテムを取り揃えた独自のWEB発注システム
お客様専用カスタマイズも可能



約600,000点の豊富な商品を掲載する、ITソリューション専門のBtoB通販サイト



【個人・SOHO向け】

コンビニ決済、カード決済にも対応した、リサイクル商品のBtoC通販サイト

Repack ★ store

■ 拠点情報

【生産拠点】 ●
駒ヶ根工場・春日井工場
【物流拠点】 ●
駒ヶ根物流・小牧物流

【営業拠点】 ●

<関西地方>

大阪支店・京都営業所

<中国・四国・九州地方>

広島営業所・松山営業所

福岡営業所

<関東地方>

東京支店・横浜営業所

埼玉営業所・千葉営業所

<東海・北陸地方>

名古屋支店・富山営業所・松本営業所

静岡営業所・浜松営業所・岡崎営業所

岐阜営業所・三重営業所

<北海道・東北地方>

札幌営業所・青森営業所

仙台営業所

株式会社青雲クラウン



拠 点	営業拠点 5拠点（名古屋/岐阜/津/豊橋/長野） ●
事 業 内 容	文具卸売/オフィス環境/店舗開発
従 業 員 数	74名

オフィス用品の総合商社として、調達から物流までのサプライチェーンを構築しオフィス環境を総合的にサポート
店舗開発事業として文具専門店のプロデュースも実施

SBMソリューション株式会社



拠 点	営業拠点 2拠点（名古屋/岐阜） ●
事 業 内 容	OA機器販売/ITソリューション
従 業 員 数	29名

最適なドキュメントソリューションの提案をはじめ、PCやセキュリティ機器等の情報通信システム・ネットワークの構築、運用、保守サポートを提供

株式会社エス・アンド・エス



拠 点	営業拠点 1拠点（瀬戸） ●
事 業 内 容	OA機器販売/ITソリューション
従 業 員 数	8名

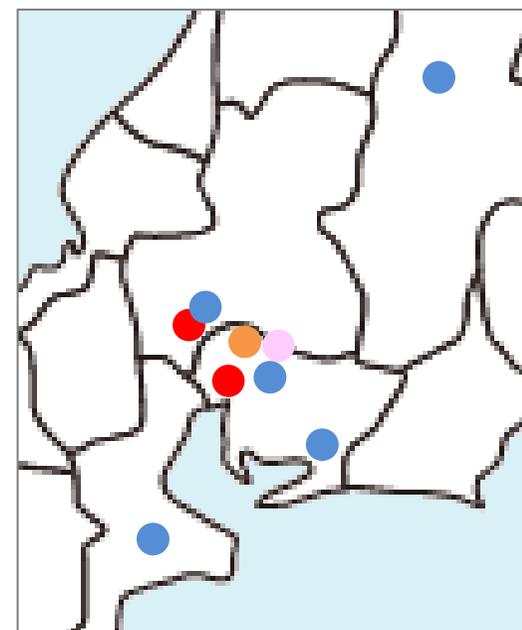
愛知県瀬戸市を中心に、複合機をはじめとしたドキュメントソリューション、PCやセキュリティ機器等、オフィスに必要なIT機器を提供

株式会社キタブツ中部



拠 点	物流拠点 1拠点（小牧） ●
事 業 内 容	ロジスティック事業/倉庫業
従 業 員 数	5名

物流を一元管理することで、コスト削減や効率化を実現しお客様のニーズに対応
オフィス用品を中心に33,000アイテムを常時管理保管



会社概要：創業50周年

ケイティケイ株式会社は2021年6月29日で創業50周年を迎えました
これもひとえに株主の皆様、お取引先の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます
今後もより一層強固な収益基盤を構築し、持続的な成長に向けて邁進してまいります

創業

1973年

自社ブランドとしてKTK計算機用記録紙
(ロールペーパー)の販売開始

1977年

カセットリボンの巻替え
による再利用方法である
リパックリボンを開発



1998年

長野県駒ヶ根市に
駒ヶ根工場を竣工

2004年

Web受注システム
「ケイティケイはっするネット」をスタート



2006年

ジャスダック証券取引所
(現 東京証券取引所
JASDAQ(スタンダード))に上場

2012年

株式会社青雲クラウンの株式を
株式交換により取得し、100%子会社化



2014年

株式会社キタブツ中部の
株式を取得し、100%子会社化



2016年

リパケットナー・リパックジェルインクの
工場直売サイト
「Repack★store」を開始

創業50周年

2021年6月29日

1971年

愛知県名古屋市内
カトー特殊計紙株式会社
として設立



1992年

トナーカートリッジの
リサイクル商品である
リパケットナーの販売を
本格的に開始

トナーカートリッジリサイクル

Repack Toner.

リパケットナー



2002年

社名をケイティケイ株式会社に変更

ktk ケイティケイ 株式会社



2013年

SBMソリューション
株式会社の株式を取得し、
100%子会社化



2020年

株式会社青雲クラウンが株式会社エス・アンド・エス
の株式を取得し、100%子会社化



企業価値の向上と持続可能な社会を実現するため、
「ケイティケイSDGs宣言」を発表し、駒ヶ根工場を
構える長野県において「長野県SDGs推進企業」に登録



1985年

愛知県春日井市に春日井工場を竣工

創業の地である名古屋市と工場を構える駒ヶ根市において、社会・環境貢献活動等を実施いたしました

第1弾（2021年6月21日）

名古屋市内の福祉施設に

「インクジェットプリンター&リサイクルインク各色」を寄贈

— 当社製品で支援を実現 —

名古屋市内の福祉施設で活用していただく為、「インクジェットプリンター&リサイクルインク各色」29セットを中部善意銀行様を通じて寄贈いたしました



〈寄贈先の1つである桜木授産所様における贈呈式の様子／左：桜木授産所施設長 大島賢治様 中：中部善意銀行常務理事 鈴木長明様 右：当社代表取締役社長 青山英生〉

第2弾（2021年7月30日）

「企業版ふるさと納税」を活用し

駒ヶ根市へ200万円の寄付を実施

— 駒ヶ根市の豊かな自然を守る環境保全プロジェクトを支援 —

SDGs貢献の要である、トナーカートリッジの再生事業

その生産工場を構える長野県駒ヶ根市に「企業版ふるさと納税」を活用し、200万円の寄付を行いました



〈寄付先である長野県駒ヶ根市役所における贈呈式の様子／右：駒ヶ根市長 伊藤祐三様 左：当社代表取締役社長 青山英生〉

■コーポレートサイト特設ページ開設

当社のこれまでのあゆみと次の50年に向けた取り組みをご紹介します

https://www.ktk.gr.jp/50th_anniversary



本資料に関するご注意

本資料には、ケイティケイ株式会社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく見込みです。

また、多様なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限られません）を含んでいます。そのため、当社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なる可能性がありますので、ご承知おき下さい。この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

お問い合わせ先	ケイティケイ株式会社 経営企画部経営企画課
所在地	愛知県名古屋市東区泉 2 - 3 - 3
電話	052-934-2266
メールアドレス	ir@ktk.gr.jp
HP	https://www.ktk.gr.jp

